

議会だより

平成30年11月

発行・雄武町議会 編集・議会広報特別委員会 ☎ 0158-84-2121 (内線331) ・FAX 0158-88-3162



一秩父別町 屋外遊戯場視察 ～常任委員会合同道内視察研修～
(視察報告は次号に掲載)

おもな内容

行政報告	P 2
平成29年度決算認定	P 3
一般質問 (2名)	P 4～5
9月定例会審議案件	P 6～7
議会日誌・編集あとがき	P 8

9月

定例町議会

平成30年第4回町議会定例会は、9月18日から21日までの4日間を会期として開催されました。18日は町長の行政報告、副町長の行政事務報告、教育長の教育行政報告、議員2名による一般質問の後、平成29年度各会計歳入歳出決算認定を決算審査特別委員会に付託し、審査のため18日午後2時45分から休会とした中で決算審査を行いました。21日午前10時から本会議を再開し、決算審査特別委員会の報告どおり決算認定9件を原案認定しました。その後報告2件の後、条例制定1件、各会計補正予算6件、条例改正1件、その他3件、意見案1件を原案可決、委員任命1件を原案同意し閉会しました。



行政報告

中川原町長

免職処分取消等請求 事件の控訴審判決

原告の元国保病院医師、宮城氏の請求は3月6日棄却となり、これを不服とし、3月19日付けで札幌高等裁判所に控訴、その後、宮城氏側から和解の申し出があり、免職処分の撤回を求められたことから、町としては応じることは出来ないとして7月6日に決裂となりました。8月9日、第一審判決同様、宮城氏側の主張については認められず、控訴は棄却となり、最高裁判所への上告を行わなかったことから、8月25日付けで判決が確定となりました。

懸案事項に関する 要望活動

西紋別地区総合開発期成会
◆6月28日～29日（札幌）
◆7月4日～5日（東京）

《新規要望事業》

・ 沢木漁港の整備の実施
・ 下水道広域化総合推進事業の促進

オホーツク圏活性化期成会

◆7月25日（札幌）
◆7月28日（東京）
・ 地方財政と地域振興等
・ 農林水産業
・ 経済・地域活性化

オホーツク紋別空港 羽田直行便の通年運 航の決定

8月21日、全日本空輸が2018年度下期の航空輸送計画を発表し、紋別羽田線における路線変更の計画は無く、

本年度においても通年運航されることとなりました。紋別羽田線につきましては、平成29年度の搭乗実績が7万2851人となり、オホーツク紋別空港利用・整備促進期成会としての目標搭乗者数7万8千人には到達しておりませんが、前年とほぼ変わらない実績となっていることから、引き続き通年運航が正式に決定しました。

北海道胆振東部地震 における本町の対応

9月6日午前8時30分に災害対策本部を設置し、各種情報収集に努め、防災行政無線、広報車両、自治会長への連絡等、住民への周知を図り、町内4施設を6日午後5時から7日午前8時までと、7日午後5時から開放しましたが、午後10時26分までに雄武町全域での通電を確認したことから、午後10時40分をもって災害対策本部を解散しました。

平成 29 年度決算認定

9月議会において平成 29 年度決算審査特別委員会を設け、
各会計について審議を行いました。
すべての会計の決算については原案のとおり認定されております。
決算に対する意見は次のとおりです。

町広報紙の多色化 (カラー化) について

毎月発行されている町広報紙については、各種手続きや行事など町民にとって有益な情報が掲載されており、情報発信にインターネットを使用する時代にあっても、各年齢層に情報を伝達する手段としては依然として中心となる媒体であることから、より一層、読みやすさ、分かりやすさを向上させることが必要である。

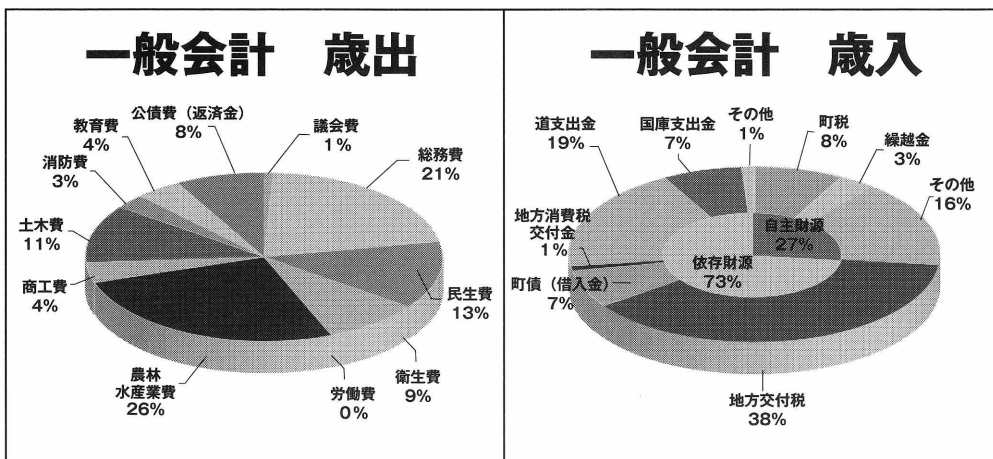
そのため、現在、新年号の表紙と裏表紙のみカラー印刷となっているが、情報伝達性を向上させるための取り組みとして、通年での多色化(カラー化)を検討されたい。

国保病院の医療体制の強化について

国保病院は入院、外来ともに患者数が減少し、平成 26 年度以降は医療収益の減少が続いている状況にあるが、これについては、常勤内科医師がいらないことによる受診のしづらさも一因と考え、昨年度も意見を付したところである。

老健への転換による病床数の減少に比例することなく、医療の質の維持向上のための設備投資が必要となる中、導入コストの低減や職員のコスト意識の向上などを図り、経費抑制に努めている姿勢は評価するものの、結果として経営を健全化するまでには至っていない状況である。

国保病院は地域医療を推進する上で重要な機関であることから、早急に医療体制の強化を図り、町民が気軽に受診することができる病院となることが、「安心して住み続けることのできるまちづくり」のためにも必要である。



歳出計 7,288,379,278 円

歳入計 7,514,653,591 円

基金繰入額

80,000,000 円

平成 30 年度へ繰越額

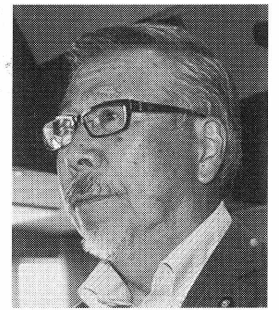
146,274,313 円

(うち繰越明許費繰越額)

74,116,000 円

※特別会計については省略

一般質問



嶋村議員

嶋村議員 紋別空港利用助成金の不正受給防止策を講じる必要があると思うが
中川原町長 チェック体制の方法を考えていきたい

2期目中川原町政3年 目の検証について

問 2期目就任にあたり掲げた28の個別政策の進捗状況について伺います。シニアやシルバー層の技能や知恵を地域づくりに活かすため登録制度の創設に努めると掲げているが進捗状況は。
中川原町長 現在所管の方で検討、取り組んでいるところです。

問 地域おこし協力隊制度による移住促進を掲げているが実績が上がっていない。受け入れ体制が問題では。
佐々木財務企画課長 他の実績の例等も参考にし検討します。

問 残り任期1年となり、自ら掲げた重要政策の達成状況について、どう考えているのか。
中川原町長 手前味噌になりますが、私から言つのは難しいです。私としては、概ね高いと認識しています。私が一番重視している政策

は、地域産業の成長による所得の向上と雇用の創出です。就任時からの町民所得の変化について所管課長から述べます。
中川原町長 7年間で漁業・農業を中心として総所得額が10億円以上増加している状況です。
問 2期目の中川原町政には、二つの汚点があったと思います。1点目は27年12月の職員の自殺と遺族の公務災害申請、2点目は副町長の任期途中の辞職です。6月議会で調査特別委員会の報告が行われ退職の理由として、ホテル日の出岬の清掃管理業務の交渉過程で中川原町長への不信感が増幅し信頼関係が崩れ町長を支える気持がなくなったと述べています。この委員会報告に対する見解を伺います。
中川原町長 この調査特別委員会は町議会の権能として設置されたもので、委員会報告に関して町長が見解を述べる立場ではない。ご理解いただきたいと思います。

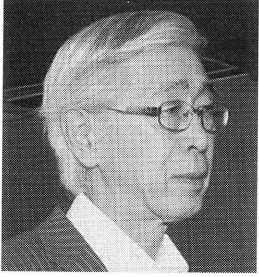
問 本年4月より清掃管理業務委託がなくなりホテルが直営で行っているが、ホテルの30年度事業計画で、清掃管理委託1842万円に対し、どの程度の減額の計画を組んでいるのか。
中川原町長 約500万円の削減が出来るという予算を組んでおります。

紋別空港利用助成事業 について

問 紋別空港利用助成事業で道外利用者で個人住宅宿泊を助成対象にしているのは雄武町だけだが、非常に残念ですが、助成対象にしない他町村個人宅に宿泊した人が雄武町の知人に宿泊証明を出してもらい助成申請する例が相当数あるそうです。性善説に立った助成制度ですが不正受給です。この制度設計を見直す必要があると思うが。
中川原町長 チェック体制を厳重にするためにはどう

高レベル核廃棄物処分 場候補地選定について

問 高レベル核廃棄物処分場の候補地選定の適地マップが公表され、雄武町も適地に入っています。雄武町は活断層がなく、地震もななく大きな港があり港から処分場まで人口が極めて少ないと処分場としては好条件が揃っており選定される危険性は高いと思います。が一次産業で成り立っている町なので、産業団体とも連携しながら何らかのアクションが必要と思うが。
中川原町長 町としては情報収集している状況ですが、しっかりと町の意思を固め選定されないようにしたいと思っています。



福原議員

雄愛園の非常用発電機の設置について

問 9月6日に発生した胆振東部地震は、特に安平町、厚真町などで大きな被害が発生し、今なお多くの方が避難を余儀なくされており、ます。震災に伴なう全道規模の大停電と、それに伴なう電話回線の停止という事態は、雄武町にも大きな混乱と課題を残しました。そこで、特に雄愛園の非常用発電機の設置について伺います。今ある発電機は、非常灯やスプリンクラーなどに対応する、消防法に対応する発電機でしょうかありません。停電時、1時間程度で切れてしまったそうです。停電の時にリースしている発電機が届き、稼働するまでの間、仕事に大きな支障

をきたしたことは言うまでもありません。リース契約の発電機が稼働した後も何度トラブルで停止はするし、そもそも電気を使う機器は使えない。特養だけでなく、シヨートステイやデイサービスなど、この施設は日常的に100人を超える高齢者のよりどころになっているのです。この施設が停電に対応できないことなどありえないと思います。

安井保健福祉課長 確かに様々な不具合が起こったことと思いますが、幸いにも体調を崩す方もいなかったと聞いております。後は雄愛園の方と具体的な話をしたいと思います。

問 今回のような大停電が起こった時こそ停電対策を真剣に考える機会にするべきだと思えます。停電時にも対応できる発電システム

を雄愛園にも設置すべきと考えますが。

災害備蓄品について

中川原町長 現行の停電対応については社会福祉協議会からの要望により実施してきたものであります。今回のような大規模な停電の際には非常な混乱が予想されますので、担当の方から聞き取りを行い、その結果により対応したいと思えます。

従来と比べ、品揃えや備蓄場所も非常に充実していることがわかります。東日本大震災以降、度重なる災害が大きく影響していると思えます。雄武町の現状と課題について伺います。

問 東日本大震災以降、各自治体が独自に水や毛布、アルファ米など千単位で用意している自治体が多かったのですが、最近調べますと、それに加えて災害用トイレや粉ミルク、生理用品、紙おむつ、投光器などなど、災害備蓄品と言いましても

大水住民生活課長 現状については、非常食や水、毛布のほか、発電機、ポータブルストーブなども備蓄しているところであり、さらに今後は、今回の大規模停電時の避難所対応の報道なども参考として、各種備蓄品の充実に努めていきたいと思えます。

高橋副町長 災害対応の想定や、整備水準の精査が必要と思えますが、年次計画を持って対応してまいりたいと思えます。

福原議員 災害備蓄品の現状と課題は

高橋副町長 災害対応の想定や整備水準の精査が必要

「こんなことが決まりました」 9月定例議会

報 告

●平成29年度健全化判断比率
について

平成29年度健全化判断比率 (単位：%)

指 標 名	比 率	財 政 健 全 化 法	
		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	20.00	30.00
実質公債費比率	6.4	25.0	35.0
将来負担比率	—	350.0	—

実質赤字額、連結実質赤字額及び将来負担比率が発生しないため、それぞれの比率は算定されません。

●平成29年度資金不足比率について
簡易水道事業特別会計・公共下水道事業特別会計・国民

健康保険病院事業会計、いずれの会計も資金不足を生じておらず、資金不足比率は算定されませんでした。

条例制定

《原案可決》

●公共施設整備基金条例の制定

雄武墓園施設整備基金を廃止し、新たに創設する雄武町公共施設整備基金に統合するため。

条例改正

《原案可決》

●子ども医療費助成に関する条例の一部改正

北海道医療給付事業に係る医療費請求方法がレセプト併用化となり、子ども医療費受給資格者証と乳幼児等医療受給者証が一体化したため。

その他

《原案可決》

●財産の取得
新図書館の備品一式
契約金額 6750万円

契約の相手方 加藤商店 加藤洋美

●新たに生じた土地の確認
●町の字の区域の変更
幌内漁港区域内の公有水面埋立によるもの。
字幌内942番地、952番地、1079番地先の公有水面の埋立地
面積78・18㎡
字の区域 雄武町字幌内

教育委員会委員の任命

《原案同意》

雄武町字雄武895番地の1
河島 仁氏
任期 平成30年10月1日～平成34年9月30日

意見案

《原案可決》

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

北海道の森林は全国の森林面積の約4分の1を占め、国土保全、地球温暖化防止、林産物の供給等の多面的機能の発揮が期待されており、これらの機能を十分に発揮させるためには、「植えて育てて、伐って使って、また植える」といった森林資源の循環活用を進める必要がある。

森林の整備を進め、木材を積極的に利用していくことは、山村地域を中心とする雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献するものである。

このようなか、北海道では、森林の公益的機能の維持増進と森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備事業及び治山事業や林業成長産業化総合対策事業等を活用し、植林・間伐や路網の整備、山地災害の防止、木造公共施設の整備、

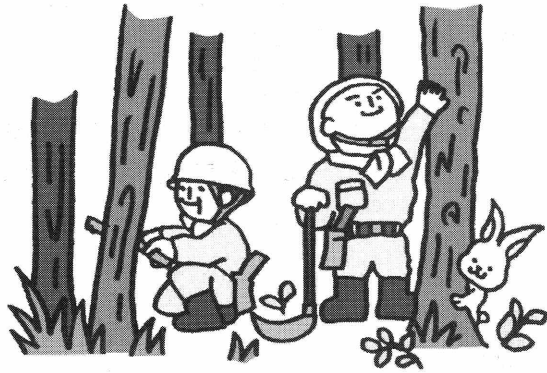
林業事業体の育成など、さまざまな取り組みが進められてきたところである。

今後、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、既存の制度や平成31年度に創設される森林環境譲与税(仮称)を活用した地域の特性に応じた森林整備の着実な推進や、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化の実現に向けて施策の充実・強化を図ることが必要である。

よって、国においては、次の措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
- 2 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業体



や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

(提出者・舘山 光司)
(賛成者・村上 伸夫)

平成30年度補正予算

一般会計 (第3号)

3億4669万2千円を追加し、予算の総額を66億4602万1千円とした。

【主な内容】

- ◇総務費 2億8283万6千円増
 - ・ 公共施設整備基金積立金の増ほか
- ◇民生費 187万6千円増
 - ・ 介護サービス事業特別会計繰出金の増ほか
- ◇衛生費 3980万円増
 - ・ 国民健康保険病院事業会計繰出金 (病院長公宅整備事業分) の増ほか
- ◇農林水産業費 138万4千円増
 - ・ 共栄浄水場取水施設管理用道路補修工事費の増ほか
- ◇土木費 1809万1千円増
 - ・ 除雪業務委託料の増ほか
- ◇消防費 84万円増
 - ・ 紋別地区消防組合負担金 単独分の増
- ◇教育費 186万5千円増
 - ・ 臨時職員賃金の増ほか

国民健康保険事業特別会計 (第2号)

2694万7千円を追加し、予算の総額を7億6717万円とした。

【主な内容】療養給付費等負担金返還金の増ほか

公共下水道事業特別会計 (第1号)

389万6千円を追加し、予算の総額を3億2258万2千円とした。

【主な内容】職員給の増ほか

介護保険事業特別会計 (第2号)

370万1千円を追加し、予算の総額を4億7043万7千円とした。

【主な内容】介護給付費国庫負担金返還金の増ほか

介護サービス事業特別会計 (第1号)

106万8千円を追加し、予算の総額を6972万4千円とした。

【主な内容】特別養護老人ホーム等指定管理料の増

国民健康保険病院事業会計 (第1号)

3500万円を追加し、予算の総額を1億1371万6千円とした。

【主な内容】院長公宅整備工事費の増

《平成30年》

6月

- 14～15日 第3回定例会開催
- 17日 自由民主党北海道第12選挙区支部オホーツク管内ブロック協議会平成30年度政経セミナー（北見市）出席、議長
- 23日 産業振興祈願祭出席、議長外2名
- 〃 ふる郷ふれあい交流会出席、議長外7名
- 〃 町外来賓者との懇親会出席、議長外3名
- 24日 産業観光まつり開幕セレモニー出席、議長
- 〃 町外来賓者との昼食会出席、議長外1名
- 28～29日 西紋別地区総合開発期成会及び高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会札幌要望（札幌市）出席、議長

7月

- 1日 遠軽駐屯地創立67周年記念式典・祝賀会（遠軽町）出席、議長
- 3～4日 町村議会議員研修会（札幌市）出席、議長外7名
- 3～6日 西紋別地区総合開発期成会及び高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会中央要望（東京都）出席、議長
- 8日 第28回雄愛園祭出席、議長
- 11日 戦没者追悼式典委員会出席、議長
- 16日 雄武神社宵宮祭出席、議長外1名
- 17日 雄武神社例大祭出席、議長外1名
- 18日 議会広報特別委員会開催
- 20日 興部警察署夏季特別術科訓練納会試合（興部町）出席、議長

- 26～28日 オホーツク圏活性化期成会夏季中央要望（東京都）出席、議長
- 29日 「益子町交流体験の翼」歓迎会出席、議長

8月

- 5日 北海道150年記念式典（札幌市）出席、議長
- 8日 平成30年度北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会（札幌市）出席、副議長
- 〃 第25普通科連隊 大野木連隊長歓迎会（遠軽町）出席、議長
- 21～22日 町村議会広報研修会（札幌市）出席、福原議会広報特別委員長外3名
- 30日 平成30年度網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会総会（北見市）出席、副議長
- 31日 雄武町戦没者追悼式出席、議長外6名

9月

- 2日 武部勤氏旭日大綬章受章祝賀会（北見市）出席、議長
- 〃 平成30年度雄愛園敬老会出席、副議長
- 3日 全員協議会開催
- 12日 議会運営委員会開催

編集あとがき

9月6日地震の影響でブラックアウトが発生し24～48時間にわたり全道が停電し、電気に依存した生活、産業で大混乱になった。これが厳冬期だと思つとゾツとする。

報道では、北海道だけでなく全国的に沿岸部に火力発電が集中立地し、地震、津波で止まる可能性があるらしい。電力会社も企業収益を考へての配置なので、一概に責めることは出来ない。

「水力発電が日本を救つ」という本を書いた元河川局長の竹村公太郎は、既存のダムの潜在能力を引き出すことにより発電量を2～3倍増やせると言っています。

小泉元首相は再生エネルギーを増やし原発を止めようと言っています。

100年前は、電気のない生活でも何も不自由は感じなかったが、現代は大変なことになる。心して備えなければと考えますが、時が経つと忘れてしまふのが人の常かもしれせん。

議会広報特別委員会

委員 嶋村 義文